

国士館大 (東京)



2年連続4度目の優勝を飾る!!

平成19年8月25日(土)〜27日(月)
第42回全日本大学男子選手権大会
 京都府舞鶴市/東舞鶴運動公園野球場他

日ソ協記録委員
 山田 元

標記大会が開催された舞鶴市は、京都府北東部の日本海側に位置しており、戦国武将で歌人としても名高い細川幽齋・忠興親子が築いた田辺城を中心に城下町として栄えた西地区と、戦前は旧海軍の軍港として、また、戦後は海上自衛隊の基地として発展した東地区からなっている。

メイン会場となった東舞鶴公園には、野球場の他、テニスコート、陸上競技場、弓道場などが設置されており、市民の生涯スポーツ社会の実現に向けた行政の努力が着実に実を結んでいるところである。

大会には、日本福祉大(愛知)、I P U 環太平洋大(岡山)、愛媛大(愛媛)の3校の初出場校をはじめ最多出場となる42回連続出場の国士館大(東京)、早稲田大(東京)の古豪を含む精鋭32チームが参加。例年にも増して厳しい残暑の中、東舞鶴野球場他3会場で3日間にわたる熱戦が繰り広げられた。

ベスト4には、連続優勝を狙う国士館大(東京)。昨年準優勝で雪辱に燃える中京学院大(岐阜)。前年度はともにも2回戦で敗退し、「今年こそ」と意気込む日本体育大(東京)、広島修

道大(広島)が勝ち上がった。

どのチームが優勝しても決しておかしくない顔ぶれが揃ったが、大会屈指の豪腕・諸見里投手を擁する国士館大(東京)が攻撃陣の奮起もあり、1回戦こそ福岡大(福岡)に辛勝したものの、他の4試合は圧倒的な強さを発揮して、2年連続4度目の栄冠を手中に収めた。

なお、今大会で特筆すべきは、初出場ながら日本代表のエースとして活躍した「世界のエース」西村信紀監督率いるI P U 環太平洋大(岡山)が準々決勝まで勝ち残ったことである。I P U 環太平洋大は、今年4月に開学された新設校で当然ながら選手は1年生だけである。この快挙は賞賛に値する。今後の活躍に注目したい。

〈準決勝〉

国士館大 0 5 1 0 0 1 7
 広島修道大 0 0 0 0 0 0 0

※大会規定により5回得点差コールド

(国) 諸見里・○赤坂―坪松・澤村

(広) ●原―竹上

▽国高橋、安井(国)

□佐方②、尾上②(国)

(審) P 武田 1 井田 2 谷口 3 辻

(記) 福井

国士館は2回表、6番・小田澤が敵

第42回全日本大学男子選手権大会

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|----|----|
| 1 | 福国 | 立早 | 神九 | 香国 | 広茨 | 仙大 | 九盛 | 学龍 | 熊京 | 岐愛 | 大広 | 中日 | 富日 | 関東 | IPU | 中城 | 福岡 |
| 2 | 士命 | 戸州 | 際島 | 阪州 | 習本 | 都聖 | 早聖 | 本都 | 聖早 | 経島 | 京本 | 日富 | 関東 | IPU | 中城 | 福岡 | |
| 3 | 館田 | 学産 | 武修 | 城台 | 体東 | 岡育 | 谷学 | 産産 | 徳媛 | 法業 | 工学 | 福学 | 体山 | 学太 | 西西 | 経済 | |
| 4 | 院業 | 道道 | 道道 | 育海 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | |
| 5 | 院業 | 道道 | 道道 | 育海 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | |
| 6 | 院業 | 道道 | 道道 | 育海 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | |
| 7 | 院業 | 道道 | 道道 | 育海 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | |
| 8 | 院業 | 道道 | 道道 | 育海 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | |
| 9 | 院業 | 道道 | 道道 | 育海 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | |
| 10 | 院業 | 道道 | 道道 | 育海 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | |
| 11 | 院業 | 道道 | 道道 | 育海 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | |
| 12 | 院業 | 道道 | 道道 | 育海 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | |
| 13 | 院業 | 道道 | 道道 | 育海 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | |
| 14 | 院業 | 道道 | 道道 | 育海 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | |
| 15 | 院業 | 道道 | 道道 | 育海 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | |
| 16 | 院業 | 道道 | 道道 | 育海 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | |
| 17 | 院業 | 道道 | 道道 | 育海 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | |
| 18 | 院業 | 道道 | 道道 | 育海 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | |
| 19 | 院業 | 道道 | 道道 | 育海 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | |
| 20 | 院業 | 道道 | 道道 | 育海 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | |
| 21 | 院業 | 道道 | 道道 | 育海 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | |
| 22 | 院業 | 道道 | 道道 | 育海 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | |
| 23 | 院業 | 道道 | 道道 | 育海 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | |
| 24 | 院業 | 道道 | 道道 | 育海 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | |
| 25 | 院業 | 道道 | 道道 | 育海 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | |
| 26 | 院業 | 道道 | 道道 | 育海 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | |
| 27 | 院業 | 道道 | 道道 | 育海 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | |
| 28 | 院業 | 道道 | 道道 | 育海 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | |
| 29 | 院業 | 道道 | 道道 | 育海 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | |
| 30 | 院業 | 道道 | 道道 | 育海 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | |
| 31 | 院業 | 道道 | 道道 | 育海 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | |
| 32 | 院業 | 道道 | 道道 | 育海 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | 園業 | |

失で出塁。続く7番・山口が手堅く犠打で送った後、8番・高橋の右中間三塁打で先制。9番・尾上も左中間への二塁打で続き、2点目。二死後、2番・佐方が左翼頭上を抜く二塁打。3番・安井が左中間を深々と破る三塁打で続き、4番・浦本も内野安打。広島修道・原に集中打を浴びせ、この回一挙5点を奪い、早くも試合の主導権を握った。3回表にも6番・小田澤がショート右を抜ける安打で出塁。代打・久野のセカンドゴロで二塁封殺されたが、久野は代打・堀の投ゴロで二進。続く9番・尾上の二遊間安打で生還し、1点を追加。さらに5回表にも途中出場の6番・菅野が三遊間安打で出塁。二死後、9番・尾上の左越二塁打

で長駆ホームイン。7点目を挙げ、コールド勝ちを収めた。
一方、広島修道は序盤から大差をつけられ、国士館のエース・諸見里に決勝を視野に入れた余裕の投手交代を許し、3回から登板した2番手・赤坂にもわずかに1安打に抑え込まれ、完敗を喫した。

【準決勝】

| | | | | | | | |
|-------|---|---|---|---|---|---|---|
| 日本体育大 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 3 | 0 |
| 中京学院大 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 1 | 5 | | | | | |

- (日) ○高橋—松本
- (中) ●坂本—前田
- (審) P湯川 1岸本 2西嶋 3村上
- (記) 桜井

中京学院は3回裏、この回先頭の9番・鈴木が四球、一死後、2番・丹生の2球目に盗塁。さらに送りバントで三進し、3番・福重の三遊間安打で先制した。

一方、日体は4回表、二死から3番・浦本が四球を選び、捕逸で二進。4番・筒井の右前安打で同点に追いつき、打者走者・筒井が本塁送球の間に二塁に進塁。続く5番・堀田の二遊間安打で生還し、逆転に成功した。6回表にも2番・南條が二遊間安打、3番・浦本の送りバントが失策を誘い、無死一・二塁のチャンスを作り、一死後、5番・堀田の四球で満塁とし、6番・上野に対して好投を続けていた坂本が痛恨の死球。追加点を挙げ、二死後、8番・松本の中堅左への安打で2点を加え、勝負を決めた。

中京学院も最後までしぶとく戦ったが、日体のエース・高橋の変化球にかわされ、6四球を得たものの、チャンスにあと一本が出ず、決勝進出を逃した。

【決勝】

| | | | | | | | |
|-------|---|---|---|---|---|---|---|
| 日本体育大 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| 国士館大 | 0 | 2 | 2 | 0 | 0 | 2 | x |
| | 6 | 2 | | | | | |

- (日) ●高橋—松本
- (国) ○諸見里—坪松

▽困伊藤(日) 尾上(国)
 浦本(国) 澤田(国)
 (審) P上野 1岸本 2西嶋 3芦田
 (記) 服部
 日体は2回表、一死後、7番・伊藤が右中間へソロ本塁打。先取点を挙げた。

しかし、国士館もその裏、すぐさま反撃に移った。この回先頭の6番・小田澤が三遊間安打。犠打、投ゴロで二死三塁とした後、9番・尾上が初球を叩き、中越2点本塁打で逆転に成功。3回裏にも一死から3番・安井が死球で出塁。暴投で二進し、4番・浦本の右中間三塁打で1点を追加。浦本も突如制球を乱した日体・高橋のこの回2個目の暴投で生還し、さらに1点を加えた。6回裏にも、この回先頭の5番・坪松が四球、6番・小田澤の絶妙のバントヒットで無死一・二塁とし、三振、内野ゴロで二死二・三塁とした後、疲れの見える日体・高橋がまたもや致命的な暴投。決定的な追加点を与え、勝負は決まった。

日体も最後まで諦めず、必死に食い下がったが、終盤はチャンスらしいチャンスもなく、豪腕・諸見里の前に追加点を挙げる事ができなかった。しかし、敗れたとはいえ、その戦いは「名門復活」を期待させるのに十分な戦いぶりであった。